

松陰さんやハリスさんも歩いた
天城の旧街道です。
伊豆で唯一「日本の歴史の道百選」
に選ばれました。



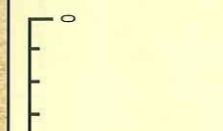
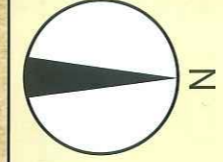
一本杉道
「歩程約3時間10分」
旧天城峠
一般向き



二本杉峠(旧天城峠)



宗太郎學術保護林



宗太郎杉並木



天城峠を越えて南(賀茂)と北(田方)の交通の始まったのはいつ頃か定かではないが、いくつかの古道や旧道が残っている。その内の一つ、二本杉峠(旧天城峠)越えのルートは文政2年(1819)に開通し、幕末開国をめぐって、数多くの歴史上の人物が往来した街道である。

国禁を破ってアメリカへの密航に失敗し、捕らえられた吉田松陰と金子重輔が唐丸籠に乗せられてこの峠道を越え、また、アメリカ初代駐日総領事タウンゼント・ハリスが徳川幕府と通商条約の話し合いをするため越えた峠道をもたらしただため、日本の歴史の道百選に選ばれるまで、この街道は伊豆の南北を結ぶ幹線道路で、文化交流や日本歴史に多大な影響をもたらしたため、日本の歴史の道百選に選ばれている。

河津駅から修善寺駅行きのバスで35分、水垂で下車。国道下をぐくって旧道へ入る。すぐに河津七滝の一番上の釜滝への入口がある。小さな橋を渡った先に猿田淵への歩道が河津川へと下っている。時間が許せば寄って行きたい所である。

両側に杉並木が続く。宗太郎學術保護観察林である。杉並木を抜けると休憩舎のある宗太郎園地。大きなモミの木、木の根元に石仏が一体あり、昭和の森の石碑、踊子歩道の案内板がある。

二本杉歩道は河津川に架かるコンクリート橋木で作られた橋を渡り、細いゆるやかな山道を行く。沢沿いの一本道で、この沢を右に左に何度か渡る。大水が出るたびに歩道が荒れて道がはつきりしない所もある。

うっそうとした杉、松の林や、灌木の中にゆるやかな上りがあり、しばらく続く。

二本杉林道に出たら左に少し行って再び山道へと入る。登り切ると石仏が一体あり、樹林帯のやや下りとなる

この先、右の一段高いサの中にも五体の石仏がある。かつて盛高いた天城山の炭焼きに関係した人々によって祀られたものという。二本杉峠は目の前。由来となった二本の杉の大きさが迎えてくれる。

交差した峠にはあずまやがあり、左へ行く歩道で、右へ行けば天城峠・八丁池へと通じている。

コースは、このまま真つすぐ下って大川端へと向かう。ぐんぐんと下り、わさび田を見るとすぐに林道に出る。このまま林道を左へ行く道があり、杉、松の林を抜けて再び林道を行けば国道に出る。バス停はすぐ目の前だ。

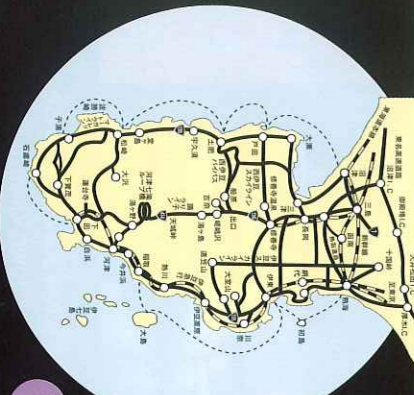
二本杉歩道 歩程約3時間20分(見学時間含まず)

河津駅	バス	25分	宗太郎園地	バス	35分	河津駅
河津駅	バス	35分	水垂	バス	35分	河津駅
河津駅	バス	110分	二本杉峠	バス	90分	河津駅
河津駅	バス	50分	遊々の森	バス	65分	河津駅
河津駅	バス	5分	案内橋	バス	5分	河津駅
河津駅	バス	46分	キャノン場	バス	5分	河津駅

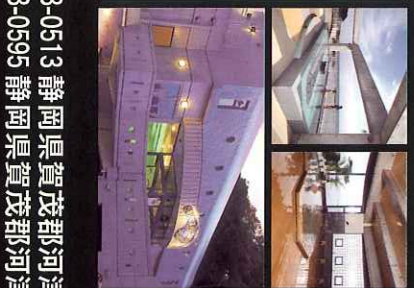
一般向きコース



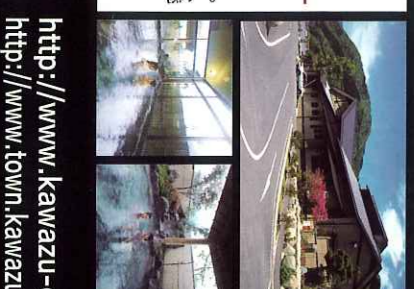
※コースタイムは一般男性の所要時間です。中高年の方は3~5割増しと考えてください。



今井浜温泉
サシツツ今井浜
TEL:0558-34-1834
(伊豆急今井浜海岸駅より徒歩5分)
ヨットをイメージしたエニエークを建物の大浴場や露天風呂の他、屋上デッキでは水着着用のサウナや展望デッキがあります。太平洋に浮かぶ新島、そして航行船舶を眺めながら身体も心もリフレッシュ。料金:大人1,000円(3時間)



峰温泉 踊り子温泉会館
TEL:0558-32-2626
(踊り子温泉開館バス停より徒歩1分)
峰温泉の豊登会館を活かした川辺の日帰り温泉。自然石造りの大浴場、露天風呂、打たせ湯、泡風呂、サウナが楽しめます。軽食コーナーと休憩室も魅力です。料金:大人1,000円(3時間)



町営日帰り温泉施設
TEL:0558(32)0290
http://www.kawazu-onsen.com
http://www.town.kawazu.shizuoka.jp